



校 訓 「自 主」 「勤 労」 「規 律」 「情 操」  
学校教育目標 「自ら学び、互いに協力してやり抜く生徒の育成」

り よ う き よ く  
**菱 旭**

気仙沼市立階上中学校  
学校だより 第8号  
令和4年10月12日

## 「二学期始業式 式辞」 校長 一丸孝博

先日、アクサユネスコ減災教育プログラムの研修会に参加している全国の先生たちが本校を訪問しました。その日3年生は午前中小学校で防災啓発活動をし、午後には中学校に戻って自分たちの取組を先生たちに紹介しました。この交流会に参加した先生の感想に、このような感想があります。「防災について小学生に優しく分かりやすく教える姿、初対面の私たちに物怖じせず自分たちの取組を自分たちの言葉で発表する姿を見て感銘を受けました。」という感想です。

前に、「階上中を誇れますか」と皆さんに質問しました。三大伝統の一つである防災学習、その学習をとおして皆さんには間違いなく素晴らしい力が付いてきています。是非自信を持ってください。そして1、2年生の皆さんも、先輩の姿に学び、伝統を継承してほしいと思います。

さて、今日から二学期が始まります。まずはみなさん、今日から3月の終業式までの学校の予定を確認するといいです。そうすると、自分がいつ、どんなことに、どのように取り組むかの具体的な計画を立てることができます。階上中学校のホームページには年間行事予定がアップされていますので、一度見てみると良いでしょう。

今週末には生徒会役員選挙が行われ、1、2年生の皆さんが生徒会の中心となる時期を迎えます。学級内での役割も変わる時期です。挑戦、成長のチャンスです。是非皆さん、自分から行動を起こしましょう。文化祭や修学旅行といった楽しみな行事も控えています。学級学年のために力を出し切り、絆を深めることを願っています。そして特に3年生にとっては、入試に向けた大切な時期を迎えます。目標の実現を果たすことができるよう、不断の取組を充実させてください。

今日は皆さんに一つの言葉を紹介します。古代中国に「孔子」という思想家がいました。その孔子の教えをまとめた本を「論語」と言い、皆さんの中にも聞いたことがある人いると思います。ある時、孔子のお弟子さんの子貢（しこう）が孔子に、「人として生きていく上で、一番大切なことを、ひとつの言葉で言うとしたら、何でしょうか」と聞きました。孔子は「それは『恕（じょ）』という言葉だ」と答えました。『恕』という言葉の意味は、思いやりの心、ということです。孔子は「恕」と答えた後、続けて「己の欲せざる所、人に施すことなかれ」と言いました。「己の欲せざる所、人に施すことなかれ」の意味は、「自分が人からされたら、いやだなと、思うことは、人にはしてはいけません。いつも、相手を思う、いたわりの心をもつ」ということです。この『恕』の心は、孔子が教えてくれているとおり、私たちの心の中にしっかり焼き付けなければならない大切なものだと思います。私が入学式で話した二つ目の話は「他人を、そして自分を大切にしましょう」ということでした。みなさん、是非今日の話を中心にしておいてください。「恕」すなわち「思いやり」があふれる二学期であることを期待しています。